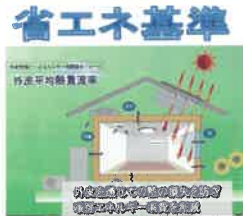
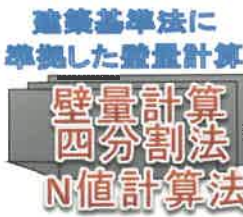



コース名	省エネルギー住宅及び低炭素建築物の計画実践技術 〈省エネ基準に対応した住宅設計に向けて〉 (昨年度のコース名: 結露防止を考慮した断熱・気密工法)					CPDプログラム認定コース
コース番号	日 程	定 員	受講料	時 間 (訓練時間)	講 師	
9H401	5/22 (水), 23 (木)	15名	¥7,500	9:00~16:00 (12時間)	外部講師	
9H402	8/21 (水), 22 (木)	15名	¥7,500	9:00~16:00 (12時間)	外部講師	
コース概要	建築設計において生産性の向上をめざして、最適化 (改善) に向けた低炭素建築物の新築計画を通して建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準を理解し建築計画手法を習得します。 1. 建築物省エネ法の概要 2. 性能規定と仕様規定 3. 長期優良住宅、低炭素建築物について 4. 外皮平均熱貫流率UA、平均日射熱取得率 ηA の計算(演習) 5. エクセルシートによる外皮平均熱貫流率、平均日射熱取得率の確認 6. 一次エネルギー消費量基準について 7. 計算プログラムによる演習 8. まとめ					 省エネ基準 住宅平均熱貫流率
使用機器	パソコン、電卓		持参品		筆記具	

コース名	木造住宅における壁量計算技術〈建築基準法編〉 (昨年度のコース名: 木造住宅における壁量計算技術)					CPDプログラム認定コース
コース番号	日 程	定 員	受講料	時 間 (訓練時間)	講 師	
9H403	6/5 (水), 6 (木)	15名	¥7,000	9:00~16:00 (12時間)	外部講師	
コース概要	木質構造設計の生産性の向上をめざして、壁量計算実習を通して効率化、適正化、最適化 (改善)、安全性向上に向けた設計の手順と構造計画に関する構造技術を習得します。 1. 木造住宅の設計とは 2. 壁量設計とは (地震力・風圧力) 3. 演習 (壁量計算) 4. 耐力壁のバランス検定 5. 演習 (四分割法) 6. 接合部の設計 (基準法) 7. 水平構面の役割とその重要性 8. まとめ ※一人で学べる木造の壁量設計演習帳 (一般財団法人 日本建築センター) を持参ください。詳しくはお問い合わせください。					 建築基準法に 準拠した壁量計算 壁量計算 四分割法 N値計算法
使用機器	電卓		持参品		筆記具	

コース名	木造住宅の構造安定性能設計技術〈性能表示 構造の安定編〉 (昨年度のコース名: 木造住宅における性能表示 (構造の安定編))					CPDプログラム認定コース
コース番号	日 程	定 員	受講料	時 間 (訓練時間)	講 師	
9H404	7/10 (水), 11 (木)	15名	¥7,000	9:00~16:00 (12時間)	外部講師	
コース概要	木造住宅の生産性及び品質の向上をめざして、効率化や安全性に向けた木造住宅のための性能表示制度に対応した演習課題を通して、住宅の構造安定性を確保した構造計画・設計・計算できる技能・技術を習得します。 1. 木造住宅の住宅性能表示の概要 2. 性能表示による壁量計算 (必要壁量) 3. 準耐力壁について 4. 性能表示による壁量計算 (存在壁量) 5. 水平構面の検討 (必要床倍率、存在床倍率、耐力壁線) 6. 横架材接合部の確認 7. 伏図・断面検討 8. まとめ ※一人で学べる木造の壁量設計演習帳 (一般財団法人 日本建築センター) を持参ください。詳しくはお問い合わせください。					 品確法による 壁量計算 「構造の安定」 等級2以上に 向けて
使用機器	電卓		持参品		筆記具	

人材開発支援助成金のご案内

◇企業内で人材育成に取り組む事業主の皆さまへ

◇傘下の事業主が雇用する労働者に訓練を実施する事業主団体の皆さまへ

従業員に能力開発セミナーや生産性向上支援訓練を受講させた事業主の方は、人材開発支援助成金を利用して、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等の助成を受けることができます。利用には一定の条件がありますので、詳しくは、以下のホームページをご確認ください。

◆人材開発支援助成金のご案内 (厚生労働省ホームページ)

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html/

または、山口労働局にご相談ください。【山口労働局 職業安定部職業対策課 助成金担当】(☎ 083-995-0383)